

## 『景観計画』から始まる『景観づくり』

豊かな自然や眺望、世代を超えて受け継ぐ田園、歴史ある緑豊かなまち並み。箕輪町の美しい『景観』を次世代に伝えるために・・・

どうしたら町民のみなさんが『景観』に関心を持つことができるでしょうか？

私たちは、どのように『景観』の保全や育成に関わっていくことができるでしょうか？

行政、企業、地域住民がそれぞれの立場で、継続して『景観』を守り育てるために大切なことはなんですか？

第4回 箕輪町景観策定委員会  
(ワークショップ)の成果  
【風景の魅力や伝え方を考える】

### 継続的な『景観づくり』



### 景観を守り育てる ～仕組み～



#### ルール

景観計画…高さ制限、色彩制限は最低限必要。  
農業政策と景観計画は同時進行すべき。  
景観条例をつくり、それに沿ったまちづくり、景観にすることが急がれる。

#### 啓蒙

企業や住民の積極的な関わり。(例：三日町の道路)  
規制と啓蒙のバランスが大切。規制だけではダメ。  
継続的に自分の身に付くところまで活動する意識を持ってもらう。

#### 後継者不足

後継者不足について、もっと町民に関心を持ってもらう。  
後継者を育成する。  
子どもたちに、教育を通じて自然や景観と関わる機会をつくる。

#### 管理

管理は難しくても、古くからある建物や樹木は残したい。  
地域みんなで草刈り。ついでにゴミ拾いもする。  
長続きするボランティア活動。  
利用方法や用途に応じた管理。

## 箕輪町らしい風景の守り方、育て方

### 【市街地・商業地】

#### 風景の守り方、育て方

建物…細長い建て方で中庭に木がある、昔の商店街のような風景を残したい。

オープンガーデン…中がしっかり見えなくてもOK。

路地…鍵の手の路地を大切に作る。

街並み…街道らしさが残っていると、全体的な雰囲気を残すことができる。

街路樹…これまでの経験を踏まえ、木の植え方や樹種の選定など、将来を考えて検討することが大切。

樹木…個人が少し協力して1～2本づつ木を植える→いずれ並木になる。

#### 課題

街並み…バイパス沿いに人や活動(動き)が集約され、周辺の市町村の景色も様変わりしてきた。日本全国同じ景色になってきている。

街路樹…町外の方にはほめられているケヤキ並木だが管理が大変だった。

### 【田園地域】

#### 風景の守り方、育て方

農業…農業の魅力を高めて、楽しく儲かる農業を目指す。後継者の育成、法人等による関わり方も検討が必要。

田園景観…町が一体となり田畑を残す区域を決め、農地を維持するとともに田園景観を残していきたい。

住宅…昔ながらの建物は古くても景色になじんでいる。建材など残せるものは残し再利用していくことも大切。

#### 課題

農業…全国平均に比べ箕輪町の耕作放棄地は少ないが、山に近い農地から荒れている傾向にある。経済活動に繋がりにくいことから、後継者不足、農地転用など課題は多い。

農業政策と景観計画…同時進行でなければダメ。

住宅…日本らしい建築は金銭的に高く、新建材等を使用した建物は比較的安く建てられる傾向にあるが、もっと日本らしい建築を考えることも大切。

### 【山林・森林地域】

#### 風景の守り方、育て方

山林…子どもたちが教育を通じて自然に触れ、山の手入れなど自然と関わりを持つことで、山への関心を高め、後継者の育成を目指す。

木材利用…薪ストーブ利用による山の手入れなど、木材の利用率を上げ、用途や管理によって利用方法を考える。

平地林…現在も行われている山の手入れを継続する。

段丘林…南北の繋がりを大切にしていく。

巨樹、巨木…社叢林などの広がりだけでなく、単一の資源としてアピールする。

箕輪ダム…大切な水源であり、樹木は重要。広域的な手入れが必要。

#### 課題

山林…春の山桜など山全体の眺めは良いが、手入れが行き届いていないところもあり、後継者不足、山に対する関心の低下など課題は多い。

箕輪ダム…倒木や木の成長により山が見えない。

中曽根～一ノ宮の平地林…景観だけに限らず、安全面など利用者から見たあり方も大切。(通学路としての利用など)